

今月のトピックス

- ・鹿角の産業が一堂に集結!!…《かづの産業見合市のご案内》
- ・一步一步着実に前へ!………《鹿角ブランドアップ戦略レポート》
- ・「好き」を仕事にする………《鹿角のヒト・モノ情報》
- ・早くも連載終了!?!………《室長のコラム》

出逢って つながって 強くなる



現在主に産業分野では「展示会」「商談会」「見本市」「EXPO」「フェア」といったイベントが販路拡大の手法の一つとなっています。自社の商品を紹介しビジネスチャンスを広げたり、受注拡大を図ったり、異業種間の連携や研究等につなげたり、「出逢い」が期待されるものですが、一般的にはバイヤーと呼ばれる人達を招き、出展者を募って開催されています。

そんな中、鹿角版の展示会・商談会はあえて「見合市」とし、鹿角の事業者同士が出逢ってつながって強化されることをねらいとし、下記のとおり開催することとしました。

8月12日(金)より出展者の募集を開始、9月16日(金)締め切りとなっており、順次出展者向け説明会を開催予定です。まずは鹿角の事業者同士知り合い、互いに高めあえる可能性を見つけてみませんか。個人・グループ等の生産者、事業者による出展、1ブース共同出展も可能です。積極的な出展をお待ちしています!

詳細については市HPをご覧ください、お気軽に市産業連携推進室までお問合せください。

開催日時 平成23年11月16日(水) **開場10時開場17時**

会場 大湯温泉ホテル鹿角

出展料 無料 **入場料** 無料

出展スペース 2.1m×1.2m程度、テーブル1台、白布、社名看板は準備します

同時開催

10時30分より

鹿角ブランドアップセミナー

「サムライ日本プロジェクトに学ぶブランド術」

講師:株式会社DDR代表取締役社長 安藤竜二氏

同時開催

(財)あきた企業活性化センターによる各種相談窓口
(知的財産権、販路拡大支援、創業・新商品開発等)

主催:鹿角市 後援:秋田県鹿角地域振興局/(財)あきた企業活性化センター/鹿角工業振興会/かづの商工会/かづの農業協同組合/

秋田県畜産農業協同組合鹿角支所/鹿角森林組合/鹿角金融団/(社)十和田八幡平観光物産協会(順不同)

※申し込みにあたっては市HPに掲載している開催要領及び出展規約を必ずご確認ください※出展者説明会は10月上旬を予定※応募者多数の場合は調整する場合があります

【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

鹿角ブランドアップ戦略の中で策定メンバーから提案された3つのプロジェクト。その取り組みを毎月レポートします!

コミュニティFM プロジェクト

7月15日、鹿角市交流プラザ(MITプラザ)にて(仮)鹿角コミュニティFM開局準備チームの結成・検討会議が開催されました。プロジェクト提案メンバーと新たに3名のチームメンバーを加え、開局に向けてその運営形態、コンセプト等を話し合いました。また改めて鹿角におけるコミュニティFMの必要性、有効性等を確認し、基礎的な知識を共有、コミュニティFM開局に向けた免許申請において最も重要視される財政的な基礎についても意見を出し合う事ができました。この会議で図られた合意事項をまとめ、次のステップへと進んでおり、専属事務局員も8月より活動中。開局に向けた準備が一層スピードアップします。

桃 花 プロジェクト

7月11日、29日、8月1日と「桃が見る夢を考えようの会」と題したワークショップが行われました。

このワークショップには桃の生産者の方々はじめ、市内の加工業者、かづの農業協同組合、農林課職員等桃に関わる方々に参加いただいています。まずは北限のものに関する情報共有とプロジェクトの実現に向けた方向性の合意を図りながら、各回テーマに沿って意見や情報を出し合っています。

今後も桃に関わるブランドアップについて積極的に前向きなワークショップを継続して行う予定です。



ワークショップの様子

米 粉 プロジェクト

米粉製粉機等の視察、京北スーパーミニ商談会等での米麺商品の紹介を通じて、現在、日持ち保持の試験等既存商品の磨き上げも進められています。また情報収集とプロジェクトでの活用のため、全国的に展開されている「FOOD ACTION NIPPON」推進パートナーにも登録。テレビCM等でもおなじみの“米粉倶楽部”等の情報も取り入れながらプロジェクトの実現に向け進められる予定です。

商談会で販路拡大・商品改善のきっかけを ～京北スーパーミニ商談会の様子～



7月5日(火)、鹿角市農業総合支援センターにおいて、千葉県柏市を中心に店舗を構える京北スーパーより7名の担当者等をお招きしてミニ商談会を行いました。

京北スーパーは「生産者の方の顔が見える安全・安心な商品を」をコンセプトにこだわりの商材を提供するスーパー。(京北スーパーHP<http://www.keihokusuper.co.jp/>)

来訪されたみなさんが鹿角の商品等を熱心に試食し、質問やアドバイス等も活発に行われました。

終了後のご挨拶で「お客様がその商品をまず手に取るようにするにはパッケージ等も大事。美味しくてその土地ならではの、でもちゃんと安全で安心できることが大前提ではあるものの、客層に合わせた分量、価格、パッケージで商品のバリエーションが豊かになれば首都圏等のスーパーでも喜ばれる」といったアドバイスもいただきました。

お客様の声に応える商品づくりは、既存の商品でも新たに磨き上げることで可能であること。そしてこうした時間を経験する事で商品改善の新たなヒント、知恵等が得られるということ、が実感できた商談会となりました。

当室では今後もこうした時間、機会を創出しながら鹿角産品のブランドアップに弾みをつけたいと考えています。随時この紙面や市HP等でご案内しますので、販路拡大の機会として積極的にご参加ください。

今回は様々な制度や地域の人、資源等をつなげて活かす「ブランドアップの第一歩」を踏み出した人等をご紹介します！

花輪市日（鹿角市定期市場）木造施設普及コンクールで表彰！ ～趣きのある景観、文化がブランドアップに～

木材利用推進中央協議会が平成5年度から行っている表彰で優れた木造施設の建設に贈られる全国表彰。

今年は全国から112件の応募があり、農林水産大臣賞（1件）、林野庁長官賞（4件）に次いで、花輪の市日が同協議会会長賞を受賞しました。施主・設計者は市、施工者は鹿角市花輪の小板橋建設。昨年度、かつての鹿角の商店街のシンボルだった雁木（こもせ）を木造で再現しリニューアルした花輪の市日は市内外から訪れる方々にゆったりとした素朴な雰囲気を提供し、賑わいを創り出しています。

今回の受賞はこの雁木（こもせ）を木造で再現した特徴が評価されましたが、この喜びは地域の誇り、自慢になり得る嬉しいニュースでした。そして今後もこの景観を中心とした地域のブランドアップが図られることが期待されています。

景観や空間、そこで生活する人たちの織り成す文化は地域の大切な資源。鹿角のブランドアップにもこうした資源は欠かせません。身近な地域の資源を地域の皆さんで発見し合い、つなぎ合わせてみると新たな産業が生まれるかも…。



まちに賑わいを創り出す活動を応援しています！

空き店舗利活用 推進事業費補助金



平成22年度までの商業活性化総合支援事業補助金から名称を改め、補助内容の拡充を図りました。

○開業支援：空き店舗を利用して恒常的な店舗を設置しようとする方への支援

・補助対象経費の5割、上限50万円

・週4日以上営業し営業時間が1日6時間以上（うち午前11時～午後4時までの間で3時間以上）であること等条件有

○賑わい創出活動支援：空き店舗を利用した催事等を実施する方への支援

・催事等の実施に要する補助全般が補助対象経費となり、補助額は補助対象経費の5割で上限は30万円

・空き店舗の所有者自身が実施するものでないこと等条件有

※いずれも空き店舗を所管する商店街団体からの推薦と協力が必要となりますので、お早めに一度下記担当者までご相談ください。

詳しくは鹿角市商工振興課 電話30-0250までお気軽にどうぞ！

MADE in 鹿角 モノ情報

《ワイナリーこのはな「鹿角三姫物語」》

鹿角市花輪の新町商店街の一角に今年誕生した「ワイナリーこのはな」。100%国産の葡萄を使用し、このワイナリーで醸造した“ロゼ”“赤ワイン”“白ワイン”3種のシリーズがこの春「鹿角三姫物語」として販売されました（白ワインは11月発売予定）。



「低温発酵法」でじっくり醗酵させ、シャンパン酵母を使用しているロゼ「吉祥姫」。鮮やかなバラ色とほのかな甘さが特徴。伝説で語られている両親思いの美しい娘、をイメージしてロゼに名付けられました。

そして本格的な「かもし仕込み」により辛口に仕上げた赤ワイン「政子姫」は軽やかな口当たりで親しみやすいワイン。色々な料理によく合います。政子姫は伝説の中でとても情熱的な女性として語り継がれていることから、赤ワインの名に。

11月の発売が待たれる白ワイン「芦名姫」は県内産のナイアガラを100%使用。甘くフルーティーな香りが特徴で、デザートワインにも最適。芦名姫は伝説の中で心優しい女性として語られていることから、甘く優しいイメージに合う白ワインの名となりました。

現在の原料は市外産の葡萄ですが、徐々に鹿角市内の果樹園で栽培される葡萄での醸造となる予定です。鹿角地域の主要な酒屋でご購入いただけます。

ワイナリーこのはなHP: www.mkpaso.jp

「鹿角三姫」とは…鹿角に伝わる伝説「ダンブリ長者伝説」（吉祥姫）「錦木塚物語」（政子姫）「芦名沢の観音様」（芦名姫）からゆかりのある姫3人を鹿角三姫と呼んでいます。

PEOPLE of 鹿角 ヒト情報

～リレー方式で鹿角人（かつのびと）をご紹介します～

《整骨院なごみ：豊田 竜明さん》

今年6月、十和田毛馬内の秋田銀行向かいに新たに開業した“整骨院なごみ”。3月に仙台の自宅が被災したことをきっかけに、それまでの仕事を生かし実家のある本市での開業を決意されました。開業にあたっては、空き店舗利活用推進事業費補助金を活用。開業2ヶ月で地元のお客様を中心に毎日施術で大忙しのご様子です。



生まれは花輪の豊田さん。でもお店を毛馬内に構えた理由は現在毛馬内地区に整骨院がなく、地域やその周辺にお住まいの、「特に高齢者の方に気軽に来院いただき、喜んでいただきたかったから」と笑顔も印象的。

開業したばかりで、現在は来院者の施術に力を入れているところですが、「今後は、院外で自らの資格（理学療法士等）と専門知識を活用し、市内の多くのスポーツ団体のトレーナーとして活動しつつ、それと一緒に、その核となる人材も育成したい。また、ご高齢の方が末永くご健康を保てるよう、介護予防支援に繋がる活動を自治会等の単位でやってみたい」と夢も広がっています。

学生時代ラグビーもしていたという豊田さんの地域に根ざした活動が、やがて地域の福祉向上、スポーツ振興にも大きな波及効果をもたらす…その可能性が強く感じられました。

「整骨院なごみ」

鹿角市十和田毛馬内字毛馬内122-1 電話0186-35-5753

400字のつぶやき

～コラム～

「なんでこの時期に桃が売られているの?」「これ北限の桃って言うんだって」「へ～、でも産地は秋田って書いてあるよ」「あれ、秋田って北限?青森じゃないの」「なんか、聞くところによれば、秋田に鹿角という所があって、そこが気温が低い場所で、日本で一番最後においしい桃が採れるから『北限の桃』って言うんだって」「じゃ～買ってみようか」「この桃美味しいね」「みんなに教えてあげようよ」こ

んな会話が次から次へと伝播され、いつしか、ブランド化され、さらに、スイーツ好きなら「この桃のケーキ食べてみたいね」……「あれ食べた」と広がり、前述した桃ストーリーがどんどん広がる。きっと、その会話をしている時は、みんな幸せそうに、一時の至福を感じながら話していることだろう。そして、「桃」が起こしたワクワク話に誰もが参加したくなる。こうなったらしめたものだ。

桃を例に、勝手に桃ストーリーを描いてしまったが、我々が取り組もうとしていることは、そんな、送り手も受け手も幸せを感じるような、ワクワクする未来を提供することだと思う。（ブラードル）

【発行元】

発行 鹿角市産業連携推進室

電話 0186-30-0264

FAX 0186-30-1515

メール renk@city.kazuno.lg.jp

Twitter@KazunoRenk

Facebookページ 鹿角の【ヒト・モノ・ワザ】

